

6月定例議会で大問題！

6月の定例議会が5月30日から始まり、6月7日に閉会しました。
この議会中に私たち市民にとって大問題の議案が2つ上程されました。

一つ競輪・競艇事業の繰り上げ充用です。競輪・競艇事業は創刊号で報告致しましたように赤字状態です。そのため3月の予算議会で補正予算を組んだばかりなのに、それでも7,000万円足りず、今回は平成17年度予算からの前借りである「繰り上げ充用」を行うという議案が上程されました。

民間の会社であれば大きな責任問題になるでしょう。市議会としては二度と行わないように強く要望し、結果的には可決されました。

二つめはモノレールの借金棒引きの問題です。北九州市はモノレールを運営している(株)北九州高速鉄道に283億円を貸していますが、今回13億円のみ返済、残りは株式化するという事です。株式化することは事実上の借金棒引きということになります。モノレールはオープン当初から赤字経営でした。しかし小倉駅に直接乗り入れを開始した平成10年より単年度収支では黒字に転換しています。初めから小倉駅に乗り入れしていれば現在のような状態にはなっていなかったはずで

す。市議会議員になっての一番の驚きは福祉を充実しようと思ってもお金がないといわれます。しかし、何十億・何百億円という税金が、棒引きされたり無駄に使われているということです。これからも議会で議論されていることを皆さんにお伝えし、一緒に考えていきたいと思ひます。

家庭ごみ袋値上げ 大袋15円が60円に！！

北九州市は現在1袋15円の家ごみ袋を60円に値上げする準備に入っています。これはごみの量を20%減らすために行うものですが、60円の根拠も明確でなく、現状の市の説明では納得できるものではありません。もちろんごみの減量は大切なことです。しかし、市が一方的に押しつけるのではなく、私たち市民の納得のできる方法で行って欲しいと思ひます。

私が所属している自民市民クラブでは同じ20%削減するのであれば、現在使用している80%分のごみ袋を無料で配り、それ以上は200円(1袋あたりの処理コスト)で購入するというような対案を検討しています。

皆さんの納得できるごみの減量方法を教えていただけませんか？



北九州市小倉北区三郎丸
3丁目12-12

電話 093(932)8533

FAX 093(922)8277



車のナンバーを選挙の時に皆様
様にいただいた票

「4396」にしました。

皆さんの期待を忘れないよう
に頑張ります！

ホームページが新しくなりました

中村よしおの活動報告を充実するために、ホームページをリニューアルしました。

「活動報告」はもちろん、「メールマガジン」発刊、中村よしおを支援してくださっている方が登場する「100人の応援団」のコーナーも必見です。

ぜひ一度、のぞいてみてください！

nakamura-yoshio.jp

市政報告会のご案内

6月27日(月)18:30~20:30 足原市民センター

8月4日(木)18:30~20:30 寿山市民センター

- ご参加いただける方は、事務所までご連絡をお願いします

作業療法士 中村よしおの楽しむリハビリコーナー

【障害者自立支援法】

今国会で障害者自立支援法という新しい法律が上程されています。この法律にはいくつかの特徴がありますが、明らかに障害のある方の制度を高齢者の制度である『介護保険』とドッキングすることを見据えたものであります。現在障害のある方の福祉制度は支援費という方法ですが、この制度の個人負担は所得に応じた『応能負担』です。これが今回の法律では介護保険同様、全員1割負担である『応益負担』になります。

これについては様々な議論があると思いますが、多くの障害のある方々は年金のみの収入で生活しています。今回の法律により、負担増になり生活が苦しくなることは明かです。その結果、今までヘルパー制度を利用し外出できていた人はその機会が奪われていくことになります。精神障害のある方の通院医療費も現在の5%から2倍になります。『自立支援法』という素晴らしい名前を付けながら実際はその反対の法律とすることもできるのです。

いま、私たちは「たくさん税金を払って質の高い福祉を求めろ」のか、「税金は安くし、質の低い福祉で納得する」のかを選ぶ時期に来ています。皆さんはどうお考えですか？